

2018年度 事業計画

基本方針

- 誰もが“自分らしく生きること”を大切にして、地域の中で医療・介護、そして暮らしをつなぎ「より多くの人々が安心して住み続けられる地域づくり」をめざします。
- 「おたがいさま」の活動(価値)を広げ、日々の暮らしに、元気、温かさ、安心感が生まれ、広がることをめざします。

1. 2018年度 重点的な活動について

2つの基本方針に基づき、次の活動を進めます

(1) 行政・諸団体との協同、連携の活動を進めます

- ① あったか地域づくり協議会の一員として、行政や諸団体とのつながりを作り、ひきつづき活動します。
 - ・なないろ食堂の運営参加（運営委員会事務局として）
 - ・地域ケア連携推進フォーラム等への参加
 - ・「フードバンク」の設立準備 等
- ② 出雲地域では、市社協と共に協同組合どうしのつながりを中心に、引き続き、地域での活動課題についてみんなで考え、具体的に取り組んでいきます。
 - ・出雲地域交流会による企画および話し合い
- ③ 正会員団体どうしの交流やつながりのきっかけを作ります。
 - ・県内 JA しまね各地区本部等、諸団体の医療・介護・くらし関連部署（福祉関係部署）と「おたがいさま」との交流
 - ・保健生協「おたがいさま支えあい基金」への理解と協力の広がり
- ④ 行政・諸団体の各委員会参加において、くらしの視点やつながることの大切さ等、発信します。
 - ・松江市社会福祉協議会評議員（2017年4月～）
 - ・松江市地域福祉活動審議会 委員（2018年3月～）

(2) 「おたがいさま」の運営支援を継続します

- ① 三者会開催（年間10回程度開催／スカイプ活用）
 - ・生協しまね、おたがいさま6団体、地域つながりセンター
- ② 研修・交流・活動支援
 - ・第6回おたがいさま研修交流会（隠岐含む7団体）実施と記録集作成
 - ・コーディネーターおよび事務局等、運営に関する、各おたがいさまどうしの交流促進
 - ・各「おたがいさま」の活動への個別支援
 - ・県外への研修参加支援

- (生協連中四国地連研修・全国おたがいさま交流集会 in 飛騨高山等への助成)
・県内・県外からの対外的窓口機能

- (3) 「赤い羽根共同募金・テーマ募金」により『6 団体合同リーフレット』を作成し、県内外の多くの人に周知する活動を行う
- ① リーフレット作成と周知活動。
 - ② 県内外の行政、相談窓口、県人会等への設置を通して、新たなつながりづくり
 - ③ 気軽な利用や応援への参加、地域でのたすけあいのしくみづくり等のよびかけ
・正会員団体内での気軽な利用や参加への呼びかけ

*上記(1)(2)(3)の活動を通して、具体的に情報交流する場と機会を大切にします。
とくに「くらしの中で困ること」「正会員団体の事業等での不安や困りごと」など率直に出し合える関係を大事にします

- ・常任幹事会や幹事会での正会員相互の交流・学習の場、賛助会員どうしの交流（新規）の場の活用
- ・正会員団体事業の相互紹介などを通して、事業課題の具体的交流、体験の場等の検討

2. センター機能の整備を継続します

- (1) 広報の充実を図ります
 - ホームページの更新、活用
(正会員団体の企画、活動の紹介、トピックス情報を前面に)
 - 会報作成と配布 第8号(6月発行予定)・第9号(検討中)
- (2) 賛助会員を広く呼びかけます
 - 正会員 (11 団体/目標 188 万円)
 - 賛助会員(個人 70 名・ 団体 30 件/目標 計 63 万円)
- (3) 助成金の活用
 - 事業内容に基づいた助成金の情報収集に努め検討します
- (4) 講師要請、研修来訪への対応を行います
 - 来訪団体の研修内容に併せ、各正会員団体への参加や協力要請を行います
- (5) センター事務局体制は、引き続き前年度と同様の体制で行います
 - スタッフ体制については下記のとおりです
スタッフ 7 名 サポーター 2 名 ボランティア 3 名

以上